

Hitachi Koki

POWER TOOLS for PROFESSIONAL

取扱説明書

用途

- 建築内装の巾木・回り縁などの化粧合板止め

日立 コードレスピン釘打機

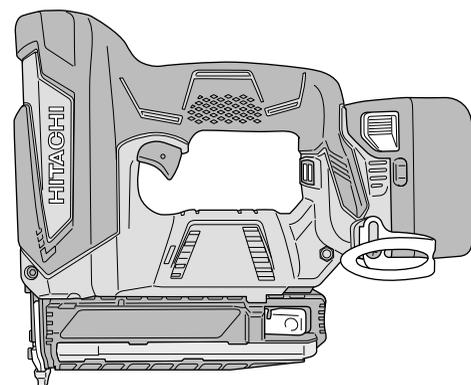
14.4V NP 14DSAL

18V NP 18DSAL

このたびは日立コードレスピン釘打機をお買い上げいただき、ありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



NP14DSAL

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意	7
USB 機器との接続時のご注意	9
各部の名称	9
仕様	11
別売部品	13

はじめに

蓄電池の取りはずし・取付け	14
電池残量について	14
LED ライトの使い方	15
LED ライトの警告シグナルについて	15
六角棒スパナの収納について	16
フックの使い方	16
蓄電池を充電する (UC18YDL)	17
蓄電池を充電する (UC18YSL3)	19
ご使用前の点検・準備	21
釘の装てんと抜き取り	23
空打ち防止機構について	24
釘の取扱い方	24
ピン釘を打つ	25
USB 機器を充電する (UC18YDL)	27
USB 機器を充電する (UC18YSL3)	29

使い方

保守・点検	31
故障診断	35
ご修理のときは	裏表紙

その他

HITACHI

⚠警告、**⚠注意**、**注**の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。

指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 充電器の使用温度範囲外では、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。

⚠ 警告

- ③ **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ **感電に注意してください。**
ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。
- ⑤ **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。
- ⑥ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑦ **加工するものをしっかりと固定してください。**
加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。
- ⑧ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
 - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - 刃物、ビットなどの付属品や別売部品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。
- ⑪ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**
破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、コードレス工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
 - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠️ 注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
 - 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- ⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。**
 - コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑬ 損傷した部品がないか点検してください。**
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。
- ⑭ コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。**
 - サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
 - コードレス工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスピン釘打機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① **保護メガネを使用してください**
 - 作業中は保護メガネを使用してください。
 - まわりの人にも保護メガネをかけさせてください。
釘を連結している接着剤や打ち損じの釘が目にあたると、けがの原因になります。
- ② **騒音から耳を保護するため、防音保護具を着用してください。**
- ③ **作業環境に応じてヘルメット、安全靴、防じんマスクなどの防具を着用してください。**
- ④ **蓄電池を取付ける前に、次の点検をしてください。**
 - ねじがゆるんでいないこと。
 - 損傷したり、はずれている部品がないこと。
 - さび付きなどで、正常に動作しない部品がないこと。
 - プッシュレバーを引き出して上下させたととき、スムーズに動くこと。
 - 引き出したプッシュレバーがもとの位置に戻ること。
異常のあるまま使用すると、けがや機体の破損の原因になるので、異常のあるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- ⑤ **蓄電池を取付けるときは、次のことに注意してください。**
 - プッシュレバーの先に触れたり、対象物に当たった状態にしない。
 - 射出口を人体に向けない。
誤って釘が発射した場合、けがの原因になります。
- ⑥ **使用前に安全装置の点検をしてください。**
 - 本製品は、射出口を打ち込み対象物に当て、さらにスイッチを引かないと、釘が発射されない構造になっています。
釘を装てんする前に、蓄電池を取付け、マガジンを開いて次の点検をしてください。
 - スイッチを引いただけで、モーターが作動しないこと。
異常のあるまま使用すると、けがの原因になるので、異常のあるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- ⑦ **作業する箇所に、内部配線やガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
- ⑧ **使用中は、機体を確実に保持してください。**
- ⑨ **釘を打ち込む材料の裏側に、手や身体を置かないでください。**
釘が突き抜けたり、材料が欠けたときなどに、けがの原因になります。

警告

- ⑩ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。**
可燃性の液体やガス（シンナー、ガソリン、塗料、ガス類など）のある所で使用しないでください。
釘を打ち込むときの火花による爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。
- ⑪ 次の場合は、スイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
- 使用しない場合や作業中断時、修理する場合。
 - 点検・修理・調整、釘づまりの直しなどの場合。
 - 釘を装てんする場合。
- 誤って釘が発射する恐れがあり、けがの原因になります。
- ⑫ 作業中はまわりの人に注意してください。**
- 釘を連結している接着剤やテープの破片、打ち損じた釘が当たる恐れがあります。
 - 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
機体や材料を落としたときなど、事故の原因になります。
- ⑬ 薄い板や木材の端に釘を打たないでください。**
薄い板に打つと釘が突き抜けたり、木材の角に打つと釘がそれたりして、けがの原因になります。
- ⑭ 機体の反発に注意してください。**
硬い所に打った場合、機体がはね返ることがあるため、顔を近づけないでください。
- ⑮ 壁の両側から同時に釘打ち作業をしないでください。**
打った釘が突き抜けたり、壁ぎわの釘がそれたりして、けがの原因になります。
- ⑯ 屋外での作業は、次のことに注意してください。**
- 屋根などの斜面で釘を打つときは、下から上に向かって前進しながら作業してください。
後退しながら作業すると、足を踏みはずす恐れがあり、けがの原因になります。
 - 床などの水平面で釘を打つときは、前進しながら作業してください。
後退しながら作業すると、足をとられ、けがの原因になります。
 - 壁などの垂直面に釘を打つときは、上から下へ作業してください。
- ⑰ 誤って落としたり、ぶつけたときは、必ず、蓄電池を取りはずして機体や釘などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
特に次の点に注意してください。
- プッシュレバーを引き出して上下させたときスムーズに動くこと。
 - 引き出したプッシュレバーがもとの位置に戻ること。
- ⑱ 精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらさないでください。**
動作不良、誤動作等をおこす原因になります。
- ⑲ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。**
- ⑳ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。**
- ㉑ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。**

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN仕様を除く)
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを入れたままでも下記①、②、③の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
14.4 V 蓄電池 (BSL14xx シリーズ) の場合：電池電圧約 8 V まで低下すると停止
18 V 蓄電池 (BSL18xx シリーズ) の場合：電池電圧約 10 V まで低下すると停止
このときは速やかに充電してください。
- ② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
このときはいったんスイッチを切り、過負荷の原因を取除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日陰などで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次項に述べる注意事項を守ってください。

警告

蓄電池の液漏れ、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 作業中にコードレス工具にたまった切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 蓄電池を使用しないとき切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品（ねじ、釘など）とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-) を逆にして使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。

⚠ 警告

- ⑦ 充電の際に所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- ⑧ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。
- ⑨ 蓄電池が液漏れしたり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑩ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑪ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形、その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取出して使用しないでください。

⚠ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

蓄電池はリサイクルへ

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、最寄りの日立電動工具販売店にご持参ください。



○ 新しい蓄電池は、当社純正品をご使用ください

当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

USB 機器との接続時のご注意

本製品に標準付属 (NK 仕様を除く) されている充電器 UC 18YDL および UC 18YSL3 には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

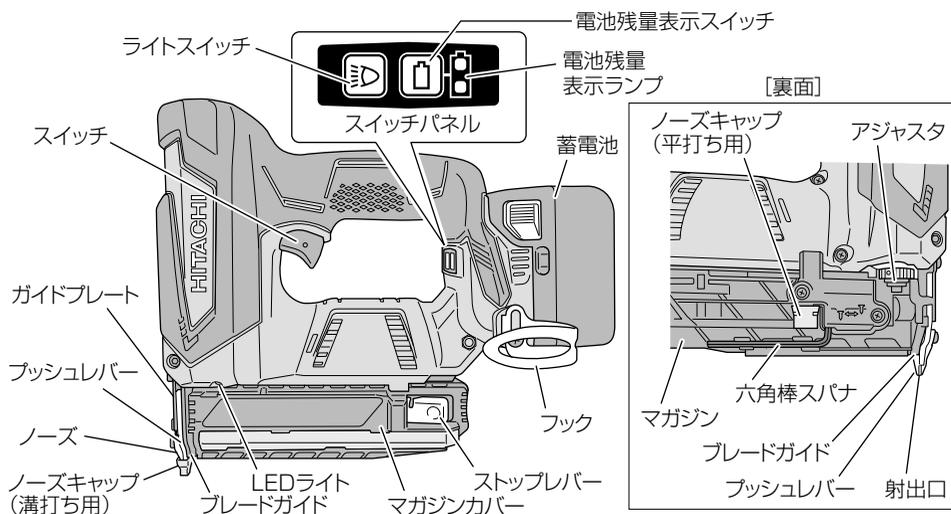
USB 機器を充電する際は、以下の内容を守ってください。

予期できない問題が生じた場合、接続した USB 機器の内部に保存されているデータが破損したり消失する可能性があります。万一の場合に備えて、必ず事前にバックアップをしてください。

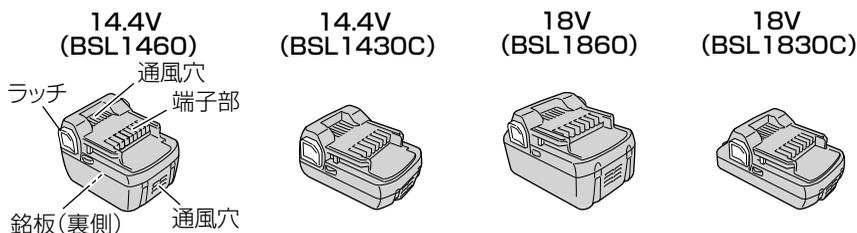
なお、USB 機器との接続において、USB 機器の内部に保存されているデータの破損または消失および接続機器の故障については、いかなる場合においても当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

各部の名称

工具本体 [イラストは NP 14DSAL です]

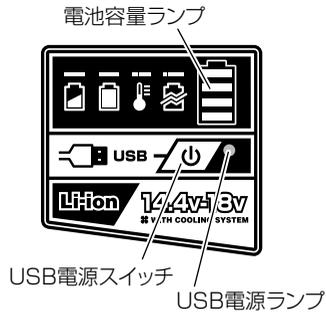
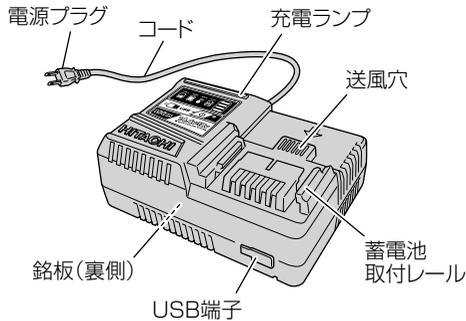


蓄電池

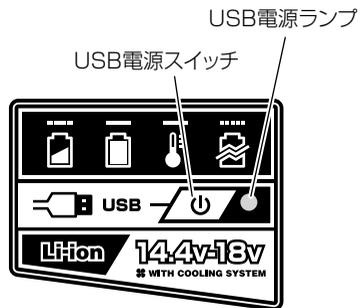
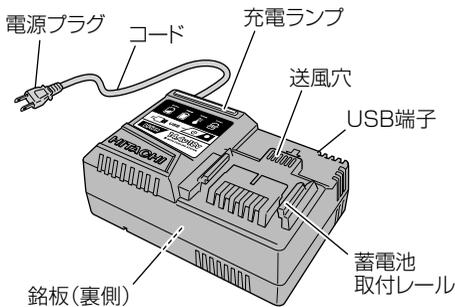


充電器

【UC 18YDL】



【UC 18YSL3】



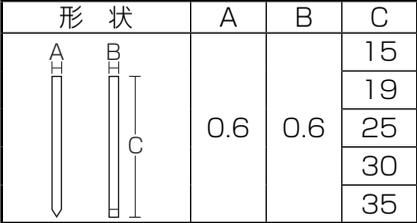
標準付属品

工具本体仕様 品名・形名	NP 14DSAL			NP 18DSAL		
	LYPK	LMCK	NK	LYPK	LMCK	NK
蓄電池 ※	BSL1460 1個	BSL1430C 1個	-	BSL1860 1個	BSL1830C 1個	-
充電器	UC 18YDL 1台	UC 18YSL3 1台	-	UC 18YDL 1台	UC 18YSL3 1台	-
ノーズキャップ (溝打ち用・平打ち用) ※	2個 (各1個)	2個 (各1個)	2個 (各1個)	2個 (各1個)	2個 (各1個)	2個 (各1個)
六角棒スパナ 3mm ※	1個	1個	1個	1個	1個	1個
保護メガネ	1個	1個	1個	1個	1個	1個
収納ケース	1個	1個	1個	1個	1個	1個
電池カバー	1個	1個	-	1個	1個	-

※ 出荷時、工具本体に取付けてあります。

仕 様

1. 工具本体

形 名	NP 14DSAL		NP 18DSAL		
能 力 (使用ピン釘)	(寸法単位: mm)				
	形 状		A	B	C
			0.6	0.6	15
					19
					25
30					
35					
釘の装てん数	100本(1連)				
モーター	直流モーター				
工具本体寸法 全長×高さ×センチメートル	262 × 227 × 83 mm (蓄電池装着時)				
質 量	2.1 kg (BSL1460 装着時)	1.9 kg (BSL1430C 装着時)	2.2 kg (BSL1860 装着時)	2.0 kg (BSL1830C 装着時)	
LED ライト	白色 LED				
残量表示ランプ	赤色 LED				

2. 充電器

形名	UC 18YDL	UC 18YSL3
入力電源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V	
充電電圧	蓄電池：14.4 V または 18 V、USB 端子：5 V	
充電可能蓄電池	日立リチウムイオン電池 14.4 V (14xx シリーズ)、18 V (BSL18xx シリーズ)	
蓄電池充電時間 ^{*1} [気温 20℃時]	----- 標準タイプ ----- 6.0 Ah 品：約 30 分 5.0 Ah 品：約 25 分 4.0 Ah 品：約 20 分 3.0 Ah 品：約 15 分 ----- 薄形軽量タイプ ----- 3.0 Ah 品：約 30 分 2.5 Ah 品：約 25 分 2.0 Ah 品：約 20 分 1.5 Ah 品：約 15 分 1.3 Ah 品：約 15 分	----- 標準タイプ ----- 6.0 Ah 品：約 38 分 5.0 Ah 品：約 32 分 4.0 Ah 品：約 26 分 3.0 Ah 品：約 20 分 ----- 薄形軽量タイプ ----- 3.0 Ah 品：約 30 分 2.5 Ah 品：約 25 分 2.0 Ah 品：約 20 分 1.5 Ah 品：約 15 分 1.3 Ah 品：約 15 分
	蓄電池充電電流	標準タイプ : 12.0 A 薄形軽量タイプ：6.0 A
USB 端子充電電流	2 A	
コード	2 心ビニールコード	
質量	0.8 kg	0.6 kg
使用温度範囲 ^{*2}	-10℃～40℃	
冷却	対応 (ファン付き)	
ブザー音	あり	

※1：蓄電池の充電時間は、周囲温度や蓄電池の状態により長くなる場合があります。

※2：周囲温度が0℃未満のときは、充電時間が長くなる場合があります。

3. 蓄電池

形名	BSL 1460	BSL 1430C	BSL 1860	BSL 1830C
種類	円筒密閉形リチウムイオン電池			
電池電圧	14.4 V		18 V	
容量	6.0 Ah	3.0 Ah	6.0 Ah	3.0 Ah
冷却	対応			

別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください)

本製品は、右の表に示すピン釘が使用できます。

釘は 100 本が 1 連に接着されています。

釘の頭の色は、下地材の色に合わせてご使用ください。

注 釘は日立純正ピン釘をご使用ください。

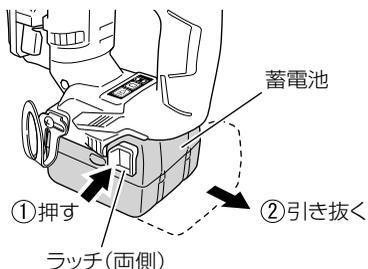
純正以外のピン釘を使用すると釘づまりしたり、故障の原因になります。

形状	形名	寸法 (mm)		L 寸法 (mm)	材質	表面	
		a	b				
	P0615B	0.6	0.6	15	鉄	茶	
	P0615Y					ベージュ	
	P0615LB					うす茶	
	P0615W					白	
	P0615					無地	
	P0619B			茶			
	P0619Y			ベージュ			
	P0619LB			うす茶			
	P0619W			白			
	P0619			無地			
	P0625B			茶			
	P0625Y			ベージュ			
	P0625LB			うす茶			
	P0625W			白			
	P0625			無地			
	P0630B			茶			
	P0630Y			ベージュ			
	P0630LB			うす茶			
	P0630W			白			
	P0630			無地			
	P0635B			茶			
	P0635Y			ベージュ			
	P0635LB			うす茶			
	P0635W			白			
	P0635			無地			
	P0625S			25		ステンレス	無地
	P0635S			35		ステンレス	無地

蓄電池の取りはずし・取付け

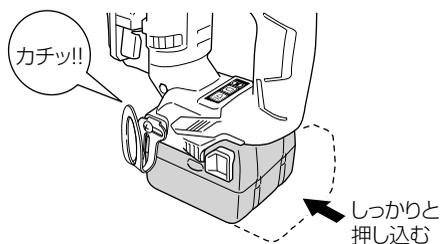
蓄電池を工具本体から取りはずすときは、両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。

取りはずすとき



蓄電池を取付けるときは、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。

取付けるとき



電池残量について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチから指をはなすとランプは消灯します。

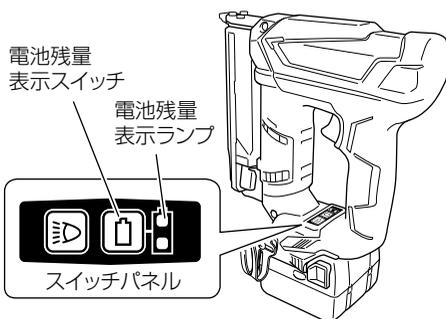
ランプの点灯状態と電池残量は以下のようになっています。

ランプの点灯状態	電池残量
	十分電池残量があります。
	電池残量が半分に なっています。
	非常に少なくなっています。早めに充電してください。

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

⚠注意

スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。故障の原因になります。



注 電池の消耗を少なくするため、残量表示スイッチを押している間のみ、ランプが点灯します。

LED ライトの使い方

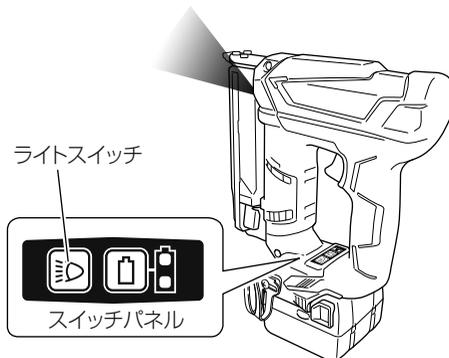
⚠️ 注意

ライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。
ライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。

スイッチパネルのライトスイッチを押すたびに LED ライトが点灯・消灯します。

蓄電池の消耗防止のため、こまめに消灯してください。

LED ライトは、使用中に警告シグナルを発光する機能を併せ持っています。
詳細は次の「LED ライトの警告シグナルについて」を参照してください。

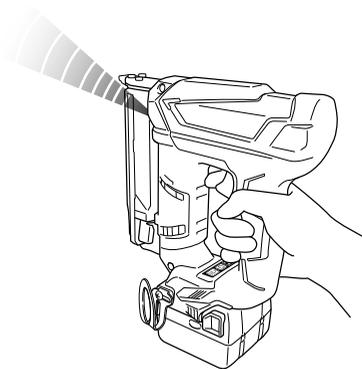


注 LED ライト消し忘れによる電池の消耗を防止するため、約5分経過すると自動で消灯します。

LED ライトの警告シグナルについて

本製品は、工具体の状態を検出する機能が付いており、作業中に各検出機能が作動すると、LED ライトが以下のように点滅してお知らせします。

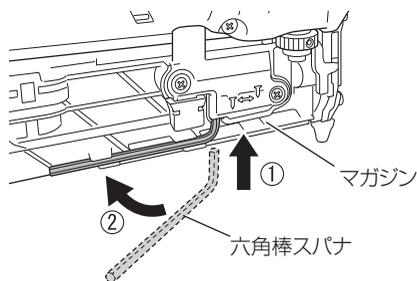
各検出機能が作動したときは、ただちにスイッチから指をはなし、対処方法に従ってください。



状態	LED ライトの表示	対処方法
過負荷状態	0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ (速い点滅)	蓄電池を抜き、P.31 の「保守・点検」に従い、ブレードガイドおよびドライバブレード周辺のごみを取除いてください。
高温状態	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ (遅い点滅)	本体を十分に冷却してください。

六角棒スパナの収納について

マガジンに六角棒スパナを収納することができます。
右図のように収納してください。



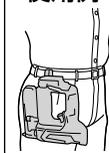
フックの使い方

フックは、作業の合間に腰ベルトなどに吊下げる機能を持っています。
左右に付け替えて使用することができます。

警告

- フックを使用するときは、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いてください。
- フックを使用するときは、工具本体が落下しないように、しっかりと掛けてください。
工具本体が落下すると、事故の恐れがあります。

使用例

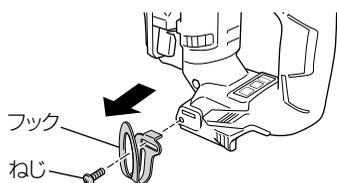


注意

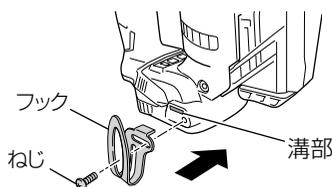
フックはしっかりと取付けてください。
フックの取付けが不完全なま使用すると、けがの原因になります。

1 フックをはずす

プラスドライバーを使用してねじをはずします。



2 付け替えてねじを締付ける



蓄電池を充電する (UC 18YDL)

ご使用前、新品時、長期間で使用にならなかったとき、残量が残りが少なくなったときは、次のように充電してください。

⚠ 警告

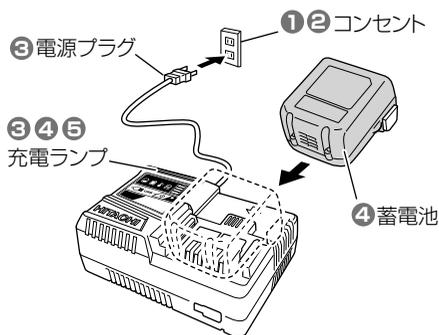
手順 ①、②については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

標準付属の充電器が UC 18YSL3 の場合は、P.19～20 を参照してください。

充電時間

BSL1860 / BSL1460 : 約 30 分

注 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。



1 電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。200 V 電源や直流電源、昇圧器などのトランス類を使用しないでください。

2 コンセントを確認する

コンセントがガタついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電ランプが赤の点滅を繰り返します。(P.18「充電ランプの表示について」参照)

4 蓄電池を充電器にさし込む

- 蓄電池をしっかりと突き当たるまでさし込んでください。
- 充電を開始すると、充電ランプが青に連続点灯して、充電開始をお知らせします。
- 充電中は、電池容量ランプで充電容量を表示します。

5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と6秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電ランプ」がついています。
各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示			表示内容
充電ランプ (赤/青/緑/紫)	充電前	赤点滅	0.5秒点灯 / 0.5秒消灯 	電源にさし込んだ状態
	充電中	青点灯	連続点灯 	
	充電完了	緑点灯	連続点灯  (連続ブザー音: 約6秒)	
	高温待機	赤点滅	0.3秒点灯 / 0.3秒消灯 	蓄電池の温度が高くて充電できない (温度が下がると自動的に充電を開始)
	充電不可	紫の速い点滅	0.1秒点灯 / 0.1秒消灯  (断続ブザー音: 約2秒)	充電器または蓄電池の端子部に異物が入っている

注 一度充電が完了した後、次の充電まで5分程度休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。

●電池容量ランプについて

電池容量ランプによって、充電中の電池の充電容量を確認することができます。

ランプの表示と電池容量は以下のようになっています。



ランプの表示					
電池容量	25% 未満	50% 未満	75% 未満	75% 以上	充電完了

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

注 充電完了後、しばらくすると電池容量ランプは消灯します。

蓄電池を充電する (UC 18YSL3)

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残りに少なくなったときは、次のように充電してください。

警告

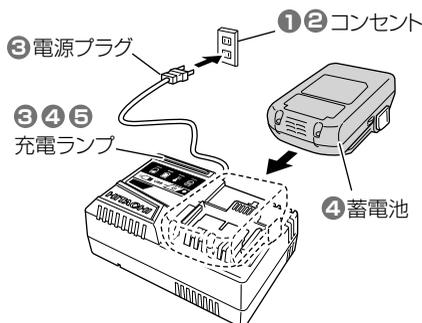
手順 ①、②については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

標準付属の充電器が UC 18YDL の場合は、P.17～18 を参照してください。

充電時間

BSL1830C / BSL1430C : 約 30 分

注 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。



1 電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。200 V 電源や直流電源、昇圧器などのトランス類を使用しないでください。

2 コンセントを確認する

コンセントがガタついていたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電ランプが赤の点滅を繰り返します。(P.20「充電ランプの表示について」参照)

4 蓄電池を充電器にさし込む

- 蓄電池をしっかりと突き当たるまでさし込んでください。
- 充電を開始すると、充電ランプが青に連続点灯あるいは点滅して、充電容量の状態をお知らせします。

5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と6秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電ランプ」がついています。
各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示			表示内容
充電ランプ (赤/青/緑/紫)	充電前	赤点滅	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 	電源にさし込んだ状態
	充電中	青点滅	0.5 秒点灯 / 1 秒消灯 	電池容量 50%未満
		青点滅	1 秒点灯 / 0.5 秒消灯 	電池容量 80%未満
		青点灯	連続点灯 	電池容量 80%以上
	充電完了	緑点灯	連続点灯 (連続ブザー音: 約 6 秒) 	
	高温待機	赤点滅	0.3 秒点灯 / 0.3 秒消灯 	蓄電池の温度が高くて充電できない (温度が下がると自動的に充電を開始)
	充電不可	紫の速い点滅	0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯 	充電器または蓄電池の端子部に異物が入っている (断続ブザー音: 約 2 秒)

注 一度充電が完了した後、次の充電まで5分程度休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。

ご使用前の点検・準備

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

⚠警告

- ねじ類がゆるんでいないことを、十分に点検してください。
- 損傷したり、はずれている部品や、さび付きなどで、正常に動作しない部品がないことを点検してください。
- 点検・準備の際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

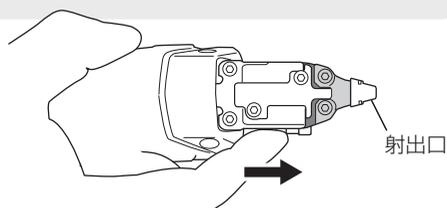
●釘の準備と安全点検

用途に合った釘を準備してください。(P.13「別売部品」参照)
P.31「保守・点検」を参照し、安全点検を必ず行ってください。

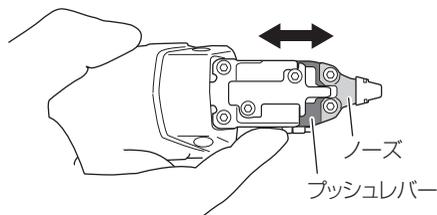
●プッシュレバーの動作確認

ノーズ部を上下させ、プッシュレバーとノーズがスムーズに摺動することを確認してください。

動作が悪いときは、プッシュレバーの摺動部を清掃してください。



※動作確認の際は射出口前に手を置かない



● ノーズキャップの使い方

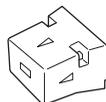
化粧合板などのやわらかい材料にピン釘を打つときは、ノーズにノーズキャップを取付けます。

材料の表面をノーズで傷付けるのを防止できます。

本製品には、2種のノーズキャップが装備されています。必要に応じてノーズキャップを付け換えてください。



溝打ち用
巾木の溝打ちに
適しています。



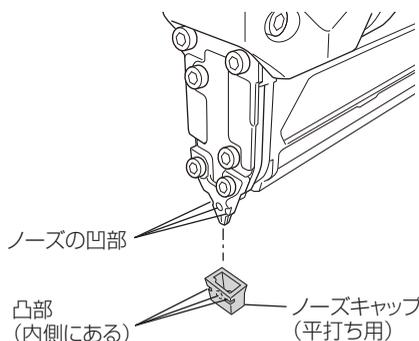
平打ち用
杉などの柔らかい
部材への平打ちに
適しています。

ノーズキャップの取付け・取りはずし

ノーズキャップはノーズに押し込むだけで取付けできます。ノーズキャップの穴部を機体の前方にして、凸部（3か所）がノーズの凹部（3か所）に合うように取付けてください。

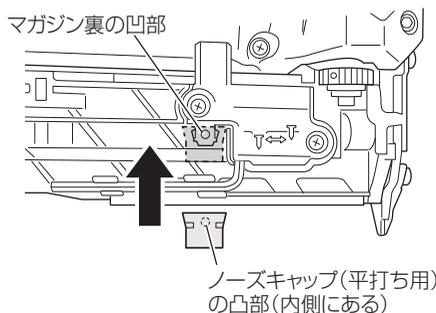
取りはずすときは、ノーズキャップを指で引っ張り、取りはずします。

取りはずしにくいときは、ノーズのすき間にマイナスドライバーなどの細い棒を入れ、取りはずします。



ノーズキャップの保管

取りはずしたノーズキャップは、穴部をマガジンスターの軸部にさし込んで保管してください。



釘の装てんと抜き取り

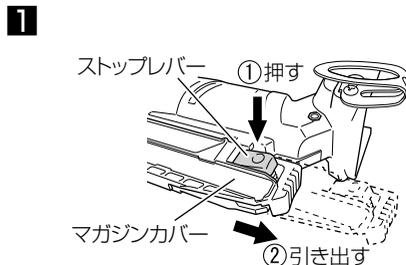
⚠️ 注意

釘の装てん・抜き取りの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

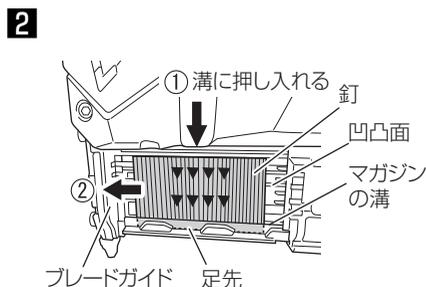
釘の装てん

- 注**
- 釘は 30 本以上連結されたものを使用してください。
この機体は、釘の残り本数が約 20 本以下になると、空打ち防止機構が作動する構造です。(右ページ「空打ち防止機構について」参照)
 - 長さの違う釘を同時に装てんしないでください。
 - 連結本数の少ない釘を、一度に数連装てんしないでください。
釘づまりなど、不具合の原因になります。
 - 本機は 15mm から 35mm までの長さの釘が使用できます。
いずれの長さの釘も足先をマガジン下部の溝底に突き当ててください。

- 1**
- ① ストップレバーを軽く押します。
 - ② マガジンカバーを静かに引き出します。

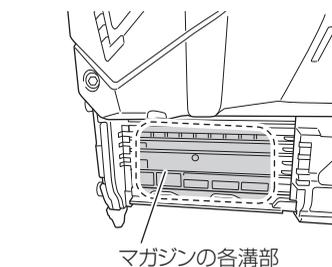


- 2**
- ① 釘をマガジンの凹凸面に押し当て、釘の足先をマガジンの溝の奥までしっかりと入れます。
 - ② マガジン内の釘を指でブレードガイドの中へ押し込みます。



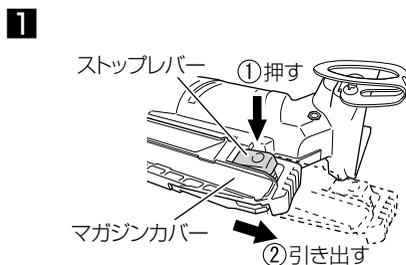
- 3**
- マガジンカバーの後部を前方に押して、釘がマガジンの凹凸面から浮き上がらないことを確認しながら、もと通りに閉じます。

- 注**
- マガジンカバーは静かに閉めてください。
強く閉めると、釘の連結が変形して、マガジンカバーが閉まらないことがあります。
 - マガジンカバーが閉まりにくいときは、マガジンの各溝部を点検してください。
溝部に釘が侵入している場合があります。釘が侵入している場合は、機体を傾けたり、精密ドライバーのような細い棒を用いて取除いてください。

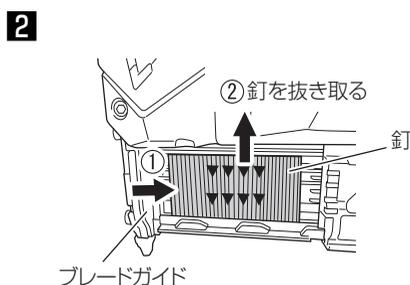


釘の抜き取り

- 1**
- ① ストップレバーを軽く押します。
 - ② マガジンカバーを静かに引き出します。



- 2**
- ① 釘をマガジンの凹凸面に押し当て、釘の足先をマガジンの溝の奥までしっかりと入れます。
 - ② 釘をブレードガイド、またはマガジン内から抜き取ります。



- 注**
- ブレードガイド内で連結が切れてしまうと、手前の釘を取除いた後に釘が残ってしまうことがあります。
 - ブレードガイド内に残った釘は見えにくいので、注意して確認してください。
 - 釘づまりして釘が抜き取れないときは、P.31「釘づまりの直し方」を参照してください。

空打ち防止機構について

この釘打機は釘がなくなったあとの空打ちを防ぐため、空打ち防止機構を備えています。釘が約 20 本以下になると、引金が引けなくなります。

また、釘を 1 連打ち終わると約 20 本の釘が残りますが、同じ長さの釘を後ろから装てんすれば、続けて釘を打つことができます。

釘の取扱い方

- 注**
- 釘は、ていねいに扱ってください。

落とすと、連結部が切れることがあり、そのままの状態で使用すると釘送り不良により、空打ち、釘づまりなどが発生することがあります。連結部が切れた釘は使用しないでください。

- 釘は長時間外気や直射日光にさらさないでください。

さびの発生や、連結部に不具合が生じる場合があります。釘梱包箱などに入れて保管してください。

ピン釘を打つ

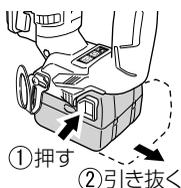
●建築内装の巾木・回り縁などの化粧合板止め

警告

- 人体に射出口を向けないでください。
- 射出口付近に顔や手、足などの人体を近づけて作業しないでください。
- 一度打った釘の上に、再度釘を打つことはしないでください。
- 使用しない場合や作業中断時は、蓄電池をはずしてください。
- 作業終了後は、蓄電池をはずしてから、釘を全部抜き取ってください。

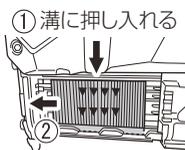
1 蓄電池を取りはずす

動作防止のため、蓄電池を工具本体より抜いてください。



2 釘を装てんする

用途に合った寸法のピン釘をマガジンに装てんしてください。(P.23「釘の装てん」参照)



3 ノーズキャップを取付ける

必要に応じてノーズキャップを取付けます。

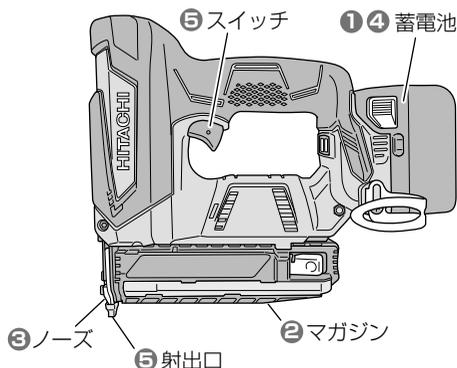
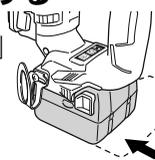


(P.22「ノーズキャップの使い方」参照)

- 注** ●低温時に使用すると、機体の動作が悪くなることがあります。暖かい場所に移動して工具本体および蓄電池を少し温めるとご使用になれます。
- フロア材や、床材止めに使用しないでください。
釘が浮いた場合など、誤ってふんだ場合、けがの原因となります。

4 蓄電池を取付ける

右図の向きで「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



安全装置について

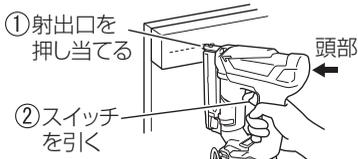
本製品は、プッシュレバーを打ち込み対象物に押し当て、スイッチを引かなければ釘は発射しません。したがって、スイッチを引いたとき、または、プッシュレバーを打ち込み対象物に押し当てただけでは、釘は発射しません。これは、誤ってスイッチを引いたり、プッシュレバーを押し当てただけで釘が発射されることを防ぐためです。

5

ピン釘を打つ

(左ページの **安全装置** について参照)

- 釘を打つ所に射出口を確実に押し当ててスイッチを引きます。



- 釘の打ち込みが不完全なときは、本機の頭部をしっかりと押さえて打ち込んでください。
- 釘の打ち込み深さ調整は下の「打ち込み深さの調整」を参照してください。

警告

- スイッチを引くときは、他の指でブッシュレバーなどを固定しないでください。誤って釘が発射した場合、けがの原因になります。
- 使用しない場合や作業中断時、使用後はスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

5

作業を終了する

作業後は、蓄電池を工具本体から抜いてから、釘を全部抜き取ってください。

注 材料の硬さ・厚さ・組合せによっては釘が曲がる場合や材料が割れる場合がありますので、試し打ちして確認の上、ご使用ください。

● 打ち込み深さの調整

アジャスタを回すことにより、打ち込み深さを調整できます。

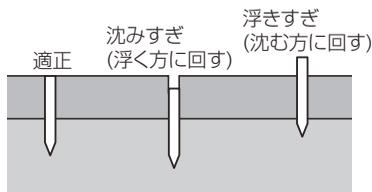
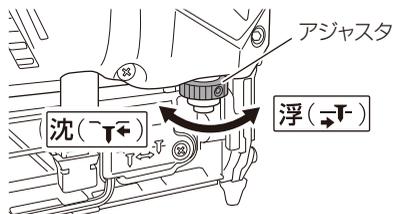
試し打ちし、釘が沈みすぎるときは、アジャスタを浮く方(マーク ↑)に回します。

釘の頭が浮くときは、アジャスタを沈む方(マーク ↓)に回します。

アジャスタは、1回転させるごとに0.75mm 移動します。

警告

アジャスタを調整する際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。



USB 機器を充電する (UC 18YDL)

●USB 機器の充電

⚠警告

- ご使用前に、接続する USB ケーブルが損傷していないことを確認してください。損傷した USB ケーブルを使用すると、発煙・発火の原因になります。
- ご使用にならないときは、USB 端子にゴムカバーを被せてください。USB 端子にほこり等が付着すると、発煙・発火の原因になります。

標準付属の充電器が UC 18YSL3 の場合は、P.29 ~ 30 を参照してください。

本製品に標準付属 (NK 仕様を除く) されている充電器 UC18YDL には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

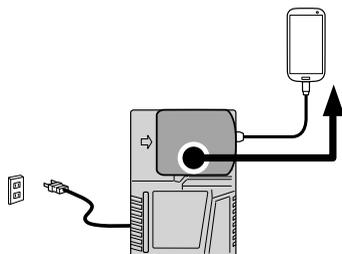
電源のない場所で当社のリチウムイオン電池から携帯電話などの USB 機器を充電することができます。

- 注**
- USB 機器と蓄電池の充電を同時に行くと、充電時間が長くなります。
 - USB 機器の充電が途中一時停止する場合があります。(詳細は、P.35「故障診断」参照)。
 - USB 機器を充電しないときは、USB 電源スイッチを OFF にして、USB 機器を充電器から取りはずしてください。
USB 機器の蓄電池寿命 (充電回数) を縮めたり、思わぬ事故の原因になります。
 - USB 機器の種類によっては、充電できない場合があります。

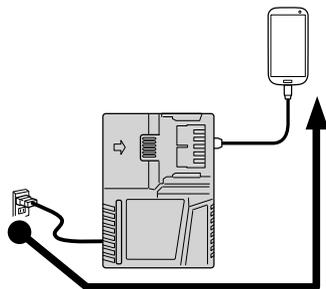
1 充電方法を選択する

充電方法に応じて、蓄電池を充電器にさし込むか、電源プラグをコンセントにさし込みます。

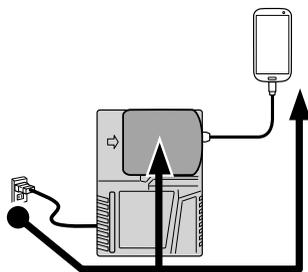
蓄電池から USB 機器を充電



100V コンセントから USB 機器を充電



100V コンセントから蓄電池と USB 機器を同時に充電

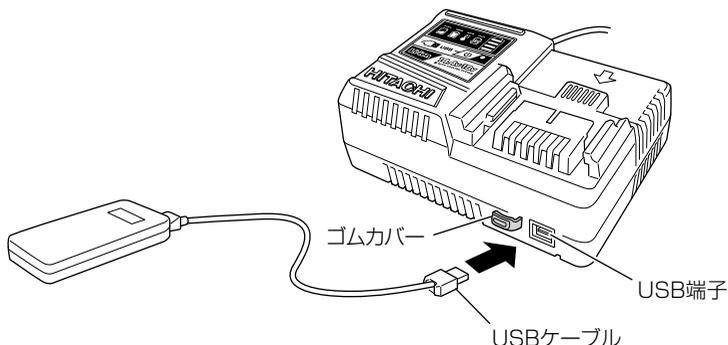


2 USB 電源スイッチを ON にする

USB 電源スイッチを ON にすると、USB 電源ランプが点灯します。

3 USB ケーブルを接続する

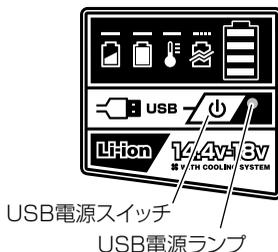
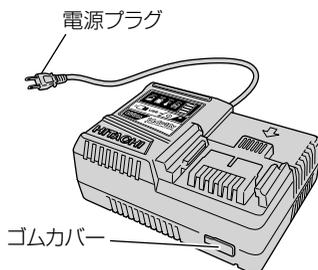
ゴムカバーをめくり、ご使用の製品に合った市販の USB ケーブルを USB 端子に奥までしっかりとさし込みます。



- 電源プラグをコンセントにさし込んでいない場合、蓄電池の容量がなくなると、USB 電源ランプが消灯して出力が停止します。
- USB 電源ランプが消灯したときは、電源プラグをコンセントにさし込むか、蓄電池を交換してください。

4 充電が終わったら

- USB 機器の充電が終わっても、USB 電源ランプは消えません。充電状態は USB 機器で確認してください。
- USB 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 充電器から蓄電池を抜き取り、USB 端子にゴムカバーを被せてください。



USB 機器を充電する (UC 18YSL3)

●USB 機器の充電

⚠警告

- ご使用前に、接続する USB ケーブルが損傷していないことを確認してください。損傷した USB ケーブルを使用すると、発煙・発火の原因になります。
- ご使用にならないときは、USB 端子にゴムカバーを被せてください。USB 端子にほこり等が付着すると、発煙・発火の原因になります。

標準付属の充電器が UC 18YDL の場合は、P.27～28 を参照してください。

充電器 UC 18YSL3 には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

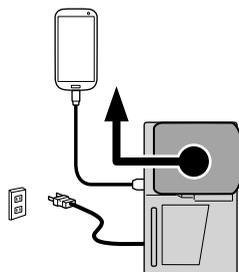
電源のない場所で、当社のリチウムイオン電池から携帯電話などの USB 機器を充電することができます。

- 注**
- USB 機器と蓄電池の充電を同時に行うと、充電時間が長くなります。
 - USB 充電が途中一時停止する場合があります。(詳細は、P.35「故障診断」参照)。
 - USB 機器を充電しないときは、USB 電源スイッチを OFF にして、USB 機器を充電器から取りはずしてください。USB 機器の蓄電池寿命(充電回数)を低くしたり、思わぬ事故の原因になります。
 - USB 機器の種類によっては、充電できない場合があります。

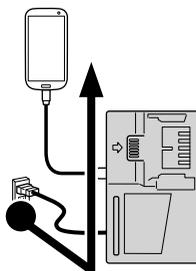
1 充電方法を選択する

充電方法に応じて、蓄電池を充電器にさし込むか、電源プラグをコンセントにさし込みます。

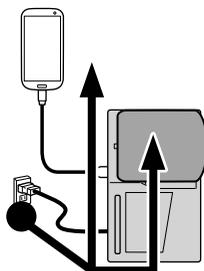
蓄電池から USB 機器を充電



100V コンセントから USB 機器を充電



100V コンセントから蓄電池と USB 機器を同時に充電

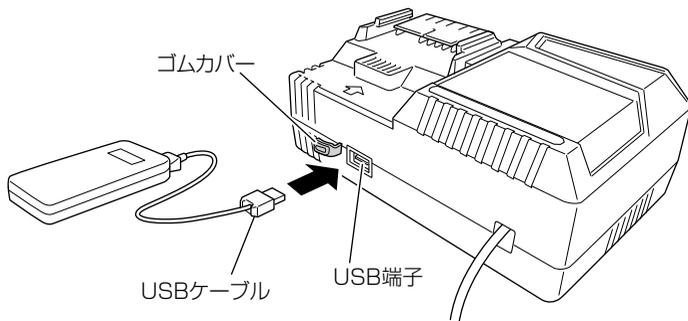


2 USB 電源スイッチを ON にする

USB 電源スイッチを ON にすると、USB 電源ランプが点灯します。

3 USB ケーブルを接続する

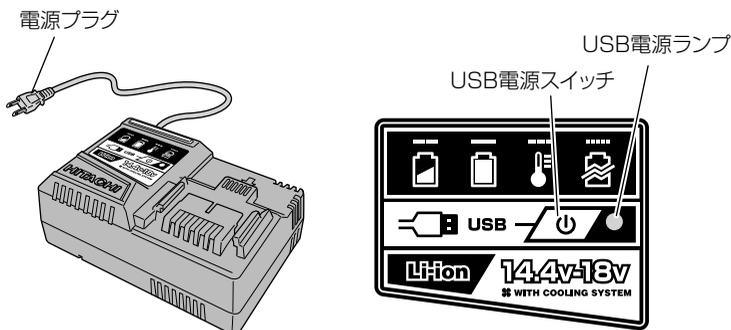
ゴムカバーをめくり、ご使用の製品に合った市販の USB ケーブルを USB 端子に奥までしっかりとさし込みます。



- 電源プラグをコンセントにさし込んでいない場合、蓄電池の容量がなくなると、USB 電源ランプが消灯して出力が停止します。
- USB 電源ランプが消灯したときは、電源プラグをコンセントにさし込むか、蓄電池を交換してください。

4 充電が終わったら

- USB 機器の充電が終わっても、USB 電源ランプは消えません。充電状態は USB 機器で確認してください。
- USB 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 充電器から蓄電池を抜き取り、USB 端子にゴムカバーを被せてください。



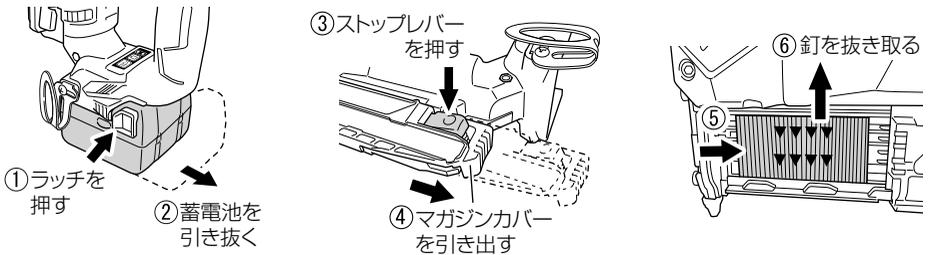
保守・点検

⚠ 警告

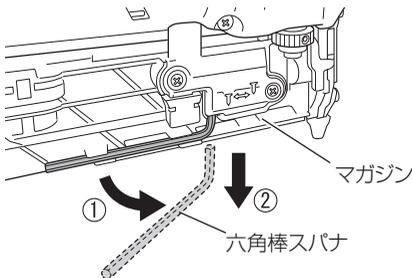
点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。
また充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● 釘づまりの直し方

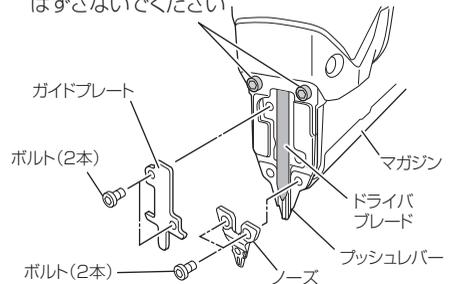
- 1** 蓄電池を工具本体から抜き取り、マガジンに入っている釘を全部抜いてください。
(P.24 **釘の抜き取り** 参照)



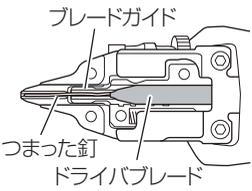
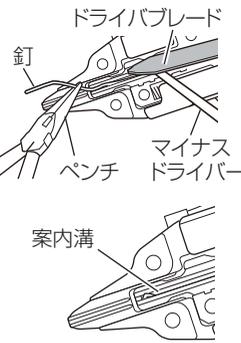
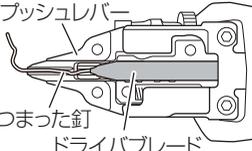
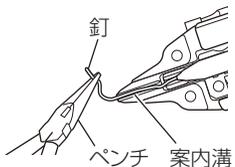
- 2** マガジン後部に収納してある六角棒スパナを使用してノーズ、ガイドプレートをはずします。



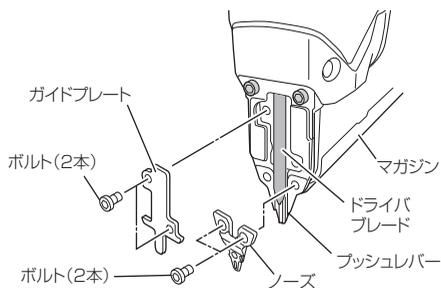
注 このボルト(2本)は、はずさないでください



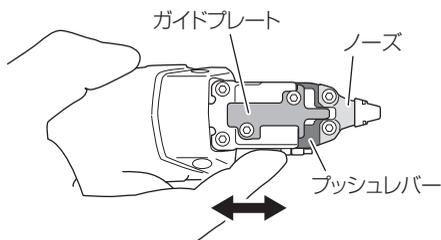
- 3** プッシュレバーやブレードガイドの案内溝につまった釘、接着剤、破片、木くずなどを取除いてください。(下表参照)

ドライバブレードの位置	つまった釘の取除き方	
<p>[ブレードガイド側]</p> 	<p>(1) マイナスドライバー等でドライバブレードを反らせる。 (2) ペンチで釘を取除く。 (3) 案内溝内に残っている釘の破片やごみをマイナスドライバー等で取除く。</p>	
<p>[プッシュレバー側]</p> 	<p>(1) ペンチで釘を取除く。 (2) 案内溝内に残っている釘の破片やごみをマイナスドライバー等で取除く。</p>	

- 4** ガイドプレートとノーズを取付けます。



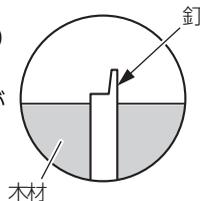
- 5** 組立て後、プッシュレバーとノーズを引き出してスムーズに上下することを確認します。



※動作確認の際は射出口前に手を置かない

●ドライバブレードの点検

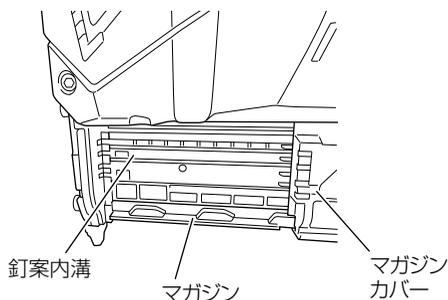
この機体のドライバブレードは消耗部品です。
釘の打ち込み後、右図のような釘浮きが多く出る(100本に2~3本)場合は、ドライバブレードの交換時期となります。
このまま使用していると、プッシュレバーやノーズなど、他の部品が破損する恐れがありますので、早めに交換してください。
ドライバブレード交換の際は、お買い求めの販売店に依頼してください。



●マガジンの点検

マガジン内をときどき掃除してください。
マガジンカバーを引き出して、溝の中にたまった釘の接着剤、ごみ、木くずなどを取除いてください。

注 釘案内溝が汚れると、釘の動きが悪くなり、空打ちが発生しやすくなります。
空打ちが多発するときは、釘案内溝にたまった釘の接着剤、木くずなどを取除いてください。



●機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

●お手入れする

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●作業後の保管

作業後は、温度が50℃未満で、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しないでください。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しないでください。
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しないでください。

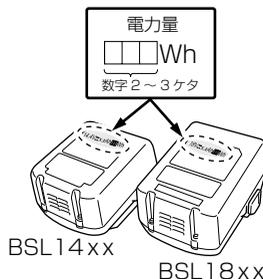
● リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が100 Whを超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

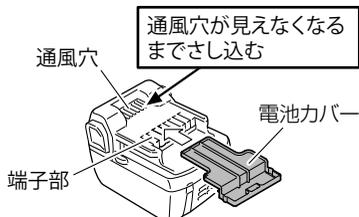


● リチウムイオン電池の保管について

⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命がつかたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
また、蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組でご持参ください。

1. 工具体

状況	原因	対策
釘を打たない	蓄電池の残量がない (電池残量警告ランプが点灯しない)	蓄電池を充電してください。
	蓄電池のさし込みが確実でない	蓄電池を引き抜いて、工具体の電池挿入口から異物が混入していないか確認してください。また、蓄電池の端子部に汚れ等が付着していないか確認してください。蓄電池は「カチッ!」と音がするまで確実にさし込んでください。
	過負荷になった	大きな負荷となった原因を取除いてください。(釘づまり、ブレードガイドおよびドライバブレード周辺のごみ)
	蓄電池または本体が過熱状態になった	蓄電池および本体を十分に冷ましてください。
	本体の異常	お買い求めの販売店にお問い合わせください。
釘が浮く	材料が硬い	材料の硬さによっては、打てない場合があります。
	本体が反動している	釘を打つ所に射出口をしっかり押し当ててください。
	ドライバブレードが摩耗している	お買い求めの販売店にお問い合わせください。
空打ちする	空打ち防止機構が作動しない	お買い求めの販売店にお問い合わせください。
	つまった釘が射出口付近に残っている	つまった釘やごみなどを取除いてください。
	ドライバブレードが摩耗している	お買い求めの販売店にお問い合わせください。
	マガジン内部にごみ等が付着している	釘案内溝にたまったごみや異物を取除いてください。

2. 充電器

状 況	原 因	対 策
充電ランプが紫の速い点滅を繰り返し、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池の取付部または蓄電池の端子部に異物が入っている	異物を取除いてください。
充電ランプが赤く点滅して、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池が高温になっている	そのままの状態でも、蓄電池の温度が下がると自動的に充電を開始しますが、蓄電池の寿命を縮める原因になります。蓄電池を風通しの良い日影などで冷ましてから、充電することをおすすめします。
満充電をしても、蓄電池の使用時間が短い	蓄電池の寿命が尽きた	蓄電池を新品と交換してください。
蓄電池の充電時間が長い	蓄電池や充電器の温度、周囲気温などが極端に低い	室内など暖かい場所で充電してください。
	充電器の風窓がふさがった状態になっているため、充電器内部が高温になっている	風窓がふさがっていないようにしてください。
	冷却ファンが回っていない	販売店に修理を依頼してください。
USB 電源ランプが消灯して、USB 機器の充電が停止した	蓄電池の電池残量が少なくなった	電池残量がある、蓄電池と交換してください。
		充電器の電源プラグを 100 V コンセントにさし込んでください。
USB 機器の充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	USB 電源ランプは、USB 機器の充電ができる状態にあることを緑色の点灯で表示している	故障ではありません。
USB 機器の充電状態や充電完了がわからない	USB 電源ランプは、充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	充電中の USB 機器で確認してください。
USB 機器の充電が途中で一時停止した	蓄電池を供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器の電源プラグを 100 V コンセントにさし込んだ	故障ではありません。 充電器が供給元電源を判別するため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
	100 V コンセントを供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器に蓄電池をにさし込んだ	
蓄電池と USB 機器を同時に充電中、USB 機器の充電が途中で一時停止した	蓄電池が満充電となった	故障ではありません。 蓄電池が正常に充電完了したことをチェックしているため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
蓄電池と USB 機器を同時に充電する際、USB 機器の充電が開始しない	蓄電池の電池残量が極端に少ない	故障ではありません。 蓄電池の電池残量があるレベルに達すると、自動的に USB 機器の充電を開始します。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)		

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご使用になれません。

携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。

お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

右のQRコードをバーコードリーダー機能付きの携帯端末より読み取ることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。



日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>